

# 魅力増す企業進出 沖縄県

東日本大震災の影響で全国的に電力の安定供給に不安が広がってきた。ただ沖縄についてはその心配がない。電力供給の余力を示す予備率は2011年度に約45%に達する見込みで、企業は安心して進出することができている。物流面でもアジアとの結びつきが強く、輸出入の拠点として成長が見込める。魅力増す沖縄の今をレポートする。



## 高い予備率で安定供給

IT産業や製造業が、この夏に向けて電力の安定供給を最優先課題として取り組んでいる。沖縄電力は石油や石炭などの火力発電を中心に据え、安定した電力供給を実現してきた。九州から遠く離れた沖縄、他の電力会社から電力の融通を受けることができないため、電力供給の余力を示す予備率が極めて高いのも特徴。関東や関西などでは夏場の節電が課題となっていたが、沖縄電力の最大出力は約184万キロワットで、2010年の使用電力のピークは138万キロワットであった。この結果、10年の予備率は約33%となった。11年度は新しい発電所が稼働するに合わせ、予備率は約45%に高まる。

10年度の販売電力量は約75億キロワット時で、同社が設立された72年の4倍以上に増加した。IT産業や製造業の誘致が進めばさらに消費電力は増える見込みだ。同社はこれに対応して現在、吉の浦火力発電所を建設中であり、12年に稼働を始める。同発電所の発電出力は13年には約50万キロワットになるため、今後安定供給に問題はなさそうだ。

同社は風力や太陽光などの自然エネルギーによる発電にも取り組んでおり、これまでに約2万3000キロワットの設備を設置した。今後も増設の方向にあり、自然エネルギーも予備率の向上に一役買うと見込んでいる。

## 物流

沖縄を介して国内3空港とアジア5空港を結ぶ物流網の活用が着実に進んでいる。全日本空輸(ANA)が同事業を始めた2009年10月から、那覇空港の国際貨物の取扱量が急増。成田空港や関西国際空港に次ぐ地位を確立しつつある。日本利用者は19時ごろまでに出荷すれば、翌日の午前中にはアジアの5都市に物資を届けることができる。アジア向けに到着すると、7時台にそれぞれの目的地に着くと見込んでいる。

## アジアを結ぶ拠点に

沖縄を介して国内3空港とアジア5空港を結ぶ物流網の活用が着実に進んでいる。全日本空輸(ANA)が同事業を始めた2009年10月から、那覇空港の国際貨物の取扱量が急増。成田空港や関西国際空港に次ぐ地位を確立しつつある。日本利用者は19時ごろまでに出荷すれば、翌日の午前中にはアジアの5都市に物資を届けることができる。アジア向けに到着すると、7時台にそれぞれの目的地に着くと見込んでいる。

間利用可能な空港であるとともに、バンクを除く7空港との位置関係にあるため、こうした仕組みが成り立つわけだ。まさに地の利を最大限に活用した取り組みであり、同じく飛行4時間圏内には北京や大連、マニラ、ハノイなどもある。黒田大津夫ANA貨物本部長は「アジアの大動脈というイメージにぴったりだ」と話す。



## 仲井眞弘多氏

沖繩県知事

今般の東日本大震災で被災された方々におよび企業の皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。

沖縄といえは「青い海と青い空」の観光立県というイメージがありますが、今、沖縄の投資環境が注目を集めています。沖縄県には法人税課税所得の35%控除の優遇措置が受けられる国内唯一の「経済特区」が設置され、豊富な若年労働力やその他各種の手厚い助成制度等による魅力的な立地環境があります。さらに沖縄が東アジアに近接する地理的優位性をいかした情報通信や国際航空物流のハブなど、また拠点分散など新たな事業展開の適地として改めて見直されています。

現在、沖縄県では将来のあるべき姿を描いた「沖繩21世紀ビジョン」を策定し、今年度で終期を迎える沖繩振興特別措置法に代わる新たな沖繩振興制度の中で、沖縄の投資環境をさらに魅力的なものとするよう取り組んでいます。

沖縄県は今後とも企業の皆さまの発展をお手伝いさせていただきます。また、企業誘致によって県内産業の振興と雇用の拡大を目指していきたいと考えております。

企業の皆さまにおかれましては、沖縄に進出については是非御検討いただきますようお願い申し上げます。

## 金型

うるま市の沖繩IT津梁パークの隣接地に、製造業を誘致するための賃貸工場や金型技術研究センターを併設する素形材産業賃貸工場などが進出した。企業はIT系は216社で、従業員数は2万2000人に達する。これに併せて製造業は30社で、従業員は4500人とどまる。今後も企業誘致はIT系が中心となり、製造業も増える見込みだ。製造業誘致により産業の厚みを増すことは重要な取り組みとなる。

特別自由貿易地域にある賃貸工場は家賃の割引がある。1000平方メートルのタイプでは月80万円、3000平方メートルタイプでは月120万円と、3割強安くなる。1500平方メートルタイプは月75万円、2000平方メートルタイプは月70万円と、2000平方

この建物内に併設されている金型技術研究センターは、樹脂加工機、射出成形機などを設置しており、入居企業が活用することができる。製品の製造のほか、研究開発や社員の研修などにも活用できる。金型は製造業の基盤となるだけに、同施設が今後の沖縄のモノづくりを支えることになりそうだ。



## IT

### バイリンガルが日本一

「8000人の職場を作り出す」と力を込めるのは平良敏昭沖繩県商工労働部次長。沖繩県が整備を進める沖繩IT津梁パークが完成すれば、敷地内で8000人が働く、一大ビジネスゾーンとなる。中でもコールセンターや人事、総務、経理などの業務を請け負うビジネスプロセス(BPO)は全体の8割

の人員を占める見込みだ。リスク分散の流れから、IT系は日本一のアピールポイントとして注目を高めており、これらは沖縄の重要産業となりそうだ。

沖繩IT津梁パークは、うるま市の海岸地域にある特別自由貿易地域内にあり、面積は20万平方メートル。パーク内にはすでに企業立地促進センターや中核機能支援施設が建設されており、今後16万平方メートルの用地に民間のIT施設を誘致する。



## モノづくりを支援

うるま市の沖繩IT津梁パークの隣接地に、製造業を誘致するための賃貸工場や金型技術研究センターを併設する素形材産業賃貸工場などが進出した。企業はIT系は216社で、従業員数は2万2000人に達する。これに併せて製造業は30社で、従業員は4500人とどまる。今後も企業誘致はIT系が中心となり、製造業も増える見込みだ。製造業誘致により産業の厚みを増すことは重要な取り組みとなる。

特別自由貿易地域にある賃貸工場は家賃の割引がある。1000平方メートルのタイプでは月80万円、3000平方メートルタイプでは月120万円と、3割強安くなる。1500平方メートルタイプは月75万円、2000平方メートルタイプは月70万円と、2000平方

日刊工業新聞は  
沖縄産業振興を  
応援いたします。

日刊工業新聞社 西部支社

地域とともに、地域のために

沖繩電力

## 経営セーフティ共済

「経営セーフティ共済」は、中小企業倒産防止共済制度の愛称です。

取引先の突然の倒産!まさかのときの  
資金調達先は準備していますか?

売掛金が回収できなくなった。  
資金ショートで連鎖倒産してしまう...

自社のリスク  
マネジメントの  
ひとつとして  
お考えください。

加入し、掛金を積み立てておけば...  
回収困難となった売掛金(被害額)相当の資金を調達できます。(最高3,200万円まで)

「取引先の倒産」と「商取引の事実」の確認で迅速に貸付実行。

当面の資金繰りに役立ち、自社と社員を守れます。

★掛金は損金(必要経費)に算入できます。

●共済制度の詳細内容は、パンフレット等を必ずご覧ください。

平成23年10月までに制度改正が行われます

- 共済金の貸付限度額が3,200万円⇒8,000万円に引き上げられます。(予定)
- 掛金の積立限度額が320万円⇒800万円に引き上げられます。(予定)
- 掛金月額が8万円⇒20万円に引き上げられます。(予定) など

※お問合せ、お申込みは、中小機構や委託契約を結んでいる金融機関、商工会、商工会議所等へどうぞ。

〈お問い合わせ先〉  
中小機構 九州  
独立行政法人 中小企業基盤整備機構九州支部  
〒812-0038 福岡市博多区福岡4-2 博多福岡BLDG  
TEL:092-263-1532  
HP:http://www.smrgj.co.jp/kyushu/index.html

広州への物流は、香港経由で速くなる。

ANA CARGO

## 高速RFS、6月15日スタート。

自動車・IT産業などの集積地として、多くの日本企業も進出している中国・広州。ANAでは、従来の直行便に加え、週53便の運航数を誇る香港と、この広州を4時間で結ぶ高速ロードフィーダーサービスをスタート。首都圏はもちろん、地方都市からもご利用いただけます。日本と広州をさらに近づけます。ぜひ、皆様の新商品開発にご利用ください。

高速RFS輸送モデル(成田→沖繩貨物ハブ→香港→広州/約18.5時間)

出発	成田	香港	広州
到着	14:00	19:30	14:10
便名	成田	NH8405	NH8325
機材	成田	成田	成田

※機材は成田発便の出発イメージです。  
●他の輸送モードにつきましては、下記案内文書までお問い合わせください。

弊社既存モデル(成田→香港→広州/約41時間)

出発	成田	香港	広州
到着	14:00	20:00	10:10
便名	成田	NH900	NH8325
機材	成田	成田	成田

ANA取組 & RFS輸送イメージ範囲 (加入)

ANA CARGO

【市内支店】東京 03-6735-1960 / 大阪 06-6450-9955 / 名古屋 052-586-9440 / 札幌 011-271-1534 / 福岡 092-720-3380 / 沖縄 098-669-5533  
【空港支店】成田 0476-34-7670 / 羽田 03-6428-5430 / 関西 072-456-7660 / 中部 0569-38-8850 / 福岡 092-477-0189 / 那覇 098-891-9501  
www.ana.co.jp/cargo/